よつ葉新聞 🍀

～第14号　2026年2月～

【お問い合わせ】
TEL：0979-22-4428
FAX：0979-24-4280
Mail：info@kaigo-yotsuba.com
住所：大分県中津市大字
永添2636番地114

当施設のホームページとInstagramのQRコードです！
是非ご覧ください！

【ホームページ】　【Instagram】

【お知らせコーナー】今回担当者：よつ葉施設長（中川）

よつ葉内の利用者様の生活を支えるうえで、訪問介護や訪問看護、デイサービスといったサービス区分ごとに役割を分断するのではなく、「利用者様にとって何が最善か」を共通の判断軸とした支援体制が重要であると考えています。そこで、よつ葉全体で役割分担・連携を図り、利用者様にとって最善のケアを提供できる体制へと移行していきたいと考えております。
例えば、身体の動かし方や日常生活に関する支援については、理学療法士等の専門職が指導・サポートに関わり、また、お口の健康については、歯科と連携している訪問看護が専門的な視点で支援を行う。それぞれの分野で専門職が関わることで、より安心で質の高いサービスを提供できるのではないかと考えています。これからも、利用者様やご家族様に寄り添いながら、よつ葉全体で支えるケアを大切にしてまいります。

よつ葉施設長：中川貴裕

【空き部屋状況】

＜有料老人ホーム＞
１人部屋：　５部屋
２人部屋：　１部屋
※２０２６年２月現在

＜訪問看護（在宅）＞
曜日時間によりますが、空き状況があります。
まずはご連絡ください。

各事業所からのお知らせコーナー

訪問看護ステーションよつ葉

先日、訪問看護ステーションよつ葉に新たにベテランの理学療法士が加わり、事業所として、より幅広く質の高いケアを在宅及び施設内へ提供できる体制が整いました。訪問看護ステーションよつ葉では、看護とリハビリが共同し、利用者様やご家族、そして他職種の方々と連携し、「その人のできる事」を増やしながらその人らしい生活づくりを支援していきたいと思います。より質の高いケアを提供できるように、利用者様の小さな変化に気づき、考え、行動できる専門職としてこれからも利用者、ご家族に寄り添った支援を丁寧に行ってまいります。

管理者：穐吉博子

デイサービスセンターよつ葉

一段と寒さが厳しくなる中、ご利用者さんも職員も元気に新たな一年をスタートしました。今年は、ご利用者さんのリクエストにより「四季折々の二十四節気表」を手作りしました。紐と定規を使って丁寧に作成され、立派な作品が完成し、気候の変化や自然の移ろいを身近に感じることができています。壁には活力あふれる馬の壁画が飾られ、明るい雰囲気に包まれています。また、無病息災を願い、ぜんざいパーティーや書き初め、福笑いなどの行事を行い、楽しい時間を過ごしました。秋に植えた苗もご利用者さんのお世話ですくすくと育ち、茎ブロッコリーやカタローニャ、根キャベツなどを収穫し、皆さんで温野菜サラダにして美味しくいただきました。

管理者：尾形　孝世

ヘルパーステーションよつ葉

日本では人口減少が続いており、それに伴う働き手不足が課題となっています。ここ数年、街中では無人精算機やお掃除ロボット、配膳ロボットなどを目にする機会が増え、ロボットやAIが私たちの暮らしにより身近な存在になってきたと感じます。介護の現場でも人手不足は深刻で、職員の負担を軽減する手段として、介護用ロボットやAI技術の活用が少しずつ進められています。人の言葉の温かさや手のぬくもりといった大切な部分は人が担いながら、ロボットやAIを上手に取り入れることで、より安心できる介護につながっていくのではないでしょうか。人とテクノロジーが助け合う介護の形が、今後ますます重要になると感じます。

管理者：西本　真一

居宅介護支援事業所よつ葉

1月は大寒の名のとおり、体にこたえる寒さの日もありましたが、ご利用者様は風邪をひかれることもなく、元気にお過ごしいただきました。自然界では水仙が咲き始め、桜も小さいながら蕾を付けており、少しずつ春の訪れを感じられる季節となってきました。春には、よつ葉のご利用者様と花見に出かけることが恒例となっています。施設の近くにある桜並木は、短い期間ではありますが、満開の桜を楽しむことができ、自然の美しさ・力強さを身近に感じられるひとときです。季節を感じれる行事は、心身のリフレッシュにもつながっています。今年も季節の移ろいを感じながら、ご利用者様とともに花見を楽しみたいと思います。　　管理者　西川玉枝

二十四節句表作成　馬の壁画　書き初め　福笑い　皆で調理

お問い合わせやご相談等ございましたら、お気軽にご連絡ください！（電話、FAX、メール可能）